

第51期 定時株主総会 招集ご通知

 日時
2019年6月17日（月曜日）午前10時

 場所
大阪市中央区難波五丁目1番60号
スイスホテル南海大阪 8階 浪華の間

決議事項
第1号議案 定款一部変更の件
第2号議案 取締役4名選任の件

目次	
株主の皆様へ	1
第51期 定時株主総会招集ご通知	2
株主総会参考書類	3
事業報告	7
計算書類	16
監査報告	18
トピックス	20

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第51期定時株主総会招集ご通知をお届けいたします。あわせて本株主総会の議案及び第51期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の事業の概況につきご説明申し上げますのでご高覧くださいますようお願い申し上げます。

2019年5月

代表取締役社長 **山田 圭一**



議決権の行使についてのご案内

株主様におかれましては、以下のいずれかの方法により、議決権を行使くださいますようお願い申し上げます。

1

株主総会にご出席いただける場合



▶▶ 議決権行使書用紙を会場受付にご提出ください。

株主総会開催日時

2019年
6月17日(月曜日)
午前10時

2

書面（議決権行使書）で議決権を行使する場合



▶▶ 議案に対する賛否をご表示のうえ、行使期限までに到着するようご返送ください。

行使期限

2019年
6月14日(金曜日)
午後5時30分
到着

証券コード：7775
2019年5月31日

招集ご通知

株主総会参考書類

事業報告

計算書類

監査報告

トピックス

株主各位

大阪市中央区道修町三丁目6番1号
大研医器株式会社
代表取締役社長 山田 圭一

第51期 定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第51期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようご通知申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討くださいます。同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、2019年6月14日（金曜日）午後5時30分までに到着するよう、ご返送くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 2019年6月17日（月曜日）午前10時
2. 場 所 大阪市中央区難波五丁目1番60号
スイスホテル南海大阪 8階 浪華の間
3. 目的事項
報告事項 第51期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）
事業報告及び計算書類の内容報告の件
決議事項
第1号議案 定款一部変更の件
第2号議案 取締役4名選任の件

以 上

- 当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。
- 次の事項につきましては、法令及び当社定款第14条の規定に基づき、インターネット上の当社ウェブサイト（<http://www.daiken-iki.co.jp>）に掲載させていただきますので、本招集ご通知添付書類には記載していません。
事業報告の「会社の体制及び方針」並びに計算書類の「株主資本等変動計算書」及び「個別注記表」
なお、これらの事項は、会計監査人又は監査役が会計監査報告又は監査報告を作成するに際して監査した事業報告及び計算書類に含まれております。
- 株主総会参考書類並びに事業報告及び計算書類に修正が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイト（<http://www.daiken-iki.co.jp>）に掲載させていただきます。
- 決議結果につきましては、書面による決議通知のご送付に代えて、上記の当社ウェブサイトに掲載いたしますのでご了承ください。

株主総会参考書類

議案及び参考事項

第1号議案 定款一部変更の件

1. 提案の理由

各部門の連携強化と効果的・効率的な組織運営を実現するために、本社機能を研究・生産の拠点である和泉事業所へ集約し、定款第3条に定める本店の所在地を大阪府大阪市から大阪府和泉市に変更するものであります。

また、株主総会と取締役会の招集権者及び議長を統一するため、取締役会の招集権者及び議長を取締役社長に変更するものであります。

2. 変更の内容

変更の内容は、次のとおりであります。

(下線部分に変更箇所を示しております。)

現行定款	変更案
(本店の所在地) 第3条 当社の本店は、 <u>大阪市</u> に置く。	(本店の所在地) 第3条 当社の本店は、 <u>大阪府和泉市</u> に置く。
(取締役会の招集権者および議長) 第21条 取締役会の招集権者および議長は、法令に別段の定めある場合を除き、 <u>取締役会長</u> とする。 2 <u>取締役会長</u> に欠員または事故があるときは、取締役会においてあらかじめ定めた順序に従い、他の取締役が取締役会を招集し、議長となる。	(取締役会の招集権者および議長) 第21条 取締役会の招集権者および議長は、法令に別段の定めある場合を除き、 <u>取締役社長</u> とする。 2 <u>取締役社長</u> に欠員または事故があるときは、取締役会においてあらかじめ定めた順序に従い、他の取締役が取締役会を招集し、議長となる。

第2号議案 取締役4名選任の件

取締役全員（5名）は、本総会終結の時をもって任期満了となりますので、機動的に意思決定が行えるよう取締役を1名減員し、あらためて社外取締役1名を含む取締役4名の選任をお願いいたします。

取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号	氏名		担当及び重要な兼職の状況等
1	やま だ けい いち 山 田 圭 一	再任	代表取締役社長兼技術本部長
2	やま だ まさ ゆき 山 田 雅 之	再任	取締役副社長兼営業本部長・管理本部長
3	やま だ みつる 山 田 満	再任	取締役
4	だい く や ひろし 大工舎 宏	再任 社外 独立	社外取締役 (株) ヴァイナス社外監査役 (株) アットストリーム代表取締役



1 やま だ けい いち 1958年2月15日生 **再任**

所有する当社の株式の数
5,627,760株

略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

1982年7月 当社入社 取締役就任
1989年4月 常務取締役就任
1997年4月 専務取締役就任
2004年3月 代表取締役社長就任
2016年10月 取締役（研究担当）就任
2017年4月 取締役執行役員開発第一部長就任
2019年1月 代表取締役社長（技術本部担当）就任
2019年4月 代表取締役社長兼技術本部長就任（現任）

選任の理由

研究開発及び経営全般に関する豊富な業務知識と経験を有しており、2004年より代表取締役として企業経営全般に携わった後も、当社の研究開発についてリーダーシップを発揮してきました。2019年1月から再び代表取締役社長として経営全般に亘る職務を適切に遂行していることから、当社取締役として適任であると判断いたしております。



2 やま だ まさ ゆき 1960年1月6日生 **再任**

所有する当社の株式の数
2,595,360株

略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

1982年7月 当社入社 取締役就任
1989年4月 常務取締役就任
2010年6月 専務取締役就任
2011年4月 新市場開発部長
2016年10月 取締役（開発担当）就任
2017年4月 取締役執行役員開発第二部長就任
2019年1月 取締役副社長（管理本部担当）就任
2019年4月 取締役副社長兼営業本部長・管理本部長就任（現任）

選任の理由

入社以来、営業本部長や商品企画部長を経験するなど幅広い豊富な業務知識と経験を持ち、現在では取締役副社長兼営業本部長・管理本部長として職務を適切に遂行していることから、当社取締役として適任であると判断いたしております。



3 やま だ みつる 1932年8月7日生 **再任**

所有する当社の株式の数
5,433,880株

略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

1968年11月 当社設立
代表取締役社長就任
2004年3月 代表取締役会長就任
2011年4月 営業本部長
2016年10月 代表取締役社長就任
2019年1月 取締役就任（現任）

選任の理由

当社の創業者であり、1968年の創業以来、長年代表取締役として企業経営全般に従事し、会社を牽引してきた実績があります。現在では取締役として会社全体の業務執行をサポートする職務を適切に遂行していることから、当社取締役として適任であると判断いたしております。



4 だ い く や
大工舎

ひろし 1968年7月15日生

宏

再任 社外 独立

所有する当社の株式の数
5,000株

略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

- 1991年 4月 アーサーアンダーセン公認会計士共同事務所
(現有限責任 あずさ監査法人) 入所
- 1994年 3月 公認会計士登録
- 1996年 4月 朝日アーサーアンダーセン(株)(現PwC
コンサルティング合同会社)に転籍
- 2001年 7月 アットストリームコンサルティング(株)(現(株)
アットストリーム)設立に参画 取締役就任
- 2001年12月 (株)ヴァイナス社外監査役就任(現任)
- 2006年 6月 当社社外監査役就任
- 2010年10月 (株)ミライト・ホールディングス社外監査役就任
- 2013年 7月 (株)アットストリーム代表取締役就任(現任)
- 2016年 6月 当社社外取締役就任(現任)

選任の理由

公認会計士として専門的な知識を有しているほか、2006年から10年間当社の社外監査役を務めた経験もあり当社の経営事情についても詳しいことから、社外取締役としての職務を適切に遂行することができると判断いたしております。なお、同氏が役員を兼職している法人と当社とは、取引関係がございません。

- (注) 1. 各候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。
2. 大工舎宏氏は、社外取締役候補者であります。また、大工舎宏氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し同取引所に届け出ており、原案どおり選任された場合、引き続き独立役員となる予定であります。
3. 大工舎宏氏の当社社外取締役在任期間は本総会終結の時をもって3年となります。

以 上

① 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及び成果

当事業年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が継続し、緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外においては、通商問題や中国経済の減速、英国のEU離脱問題等により先行き不透明な状況が続いております。

また、当社を取り巻く事業環境は、高齢化の進展による手術数の増加、院内感染や医療事故防止対策の推進により、医療用消耗品のニーズの拡大が続いております。

しかしながら、増加の一途をたどる医療費の抑制を目的とした医療制度改革は進められ、各医療機関の経営環境はより一層厳しさが増してきており、医療現場においてより効率的で効果的な医療サービスを提供できるような製品供給体制が望まれております。

このような状況のもと、当社は、高品質製品の常時安定供給を優先事項と掲げ、医療現場と密着した営業活動の推進、品質を確保しながらもコスト競争力をもった生産体制の構築並びに独創的な製品の研究開発活動の強化に取り組んでまいりました。

売上高

第51期
2019年3月期 **8,406** 百万円 前期比 2.1%減 

営業利益

第51期
2019年3月期 **1,249** 百万円 前期比 17.0%減 

経常利益

第51期
2019年3月期 **1,245** 百万円 前期比 17.2%減 

当期純利益

第51期
2019年3月期 **851** 百万円 前期比 15.9%減 

①売上高

売上高は、8,406百万円（前期比2.1%減）となりました。これは主として、吸引器関連において同業他社との競争激化による主力製品の販売単価の下落が顕著になったこと等によるものです。

②営業利益

営業利益は、1,249百万円（前期比17.0%減）となりました。これは主として、低調な結果となった売上と改良品の上市にかかる費用増により売上総利益が減少したこと等によるものです。

③経常利益

経常利益は、1,245百万円（前期比17.2%減）となりました。これは主として、営業利益が減少したこと等によるものです。

④当期純利益

当期純利益は、851百万円（前期比15.9%減）となりました。これは主として、経常利益が減少したこと等によるものです。

(2) 設備投資の状況

当期におきましては、生産設備の増強、研究開発機能の充実・強化を目的として、166百万円の設備投資を行いました。これは主として、生産設備関連87百万円、研究開発関連58百万円によるものです。

なお、重要な設備の除却、売却はありません。

(3) 資金調達の状況

2018年5月15日開催の取締役会決議に基づき実施した自己株式の買付け資金として、1,000百万円の資金調達を行っております。

(4) 対処すべき課題

今後の当社を取り巻く環境は、医療費抑制策の基調が継続し、医療機関の経営環境の悪化や国内外のメーカーとの価格競争などにより、引き続き厳しい状況で推移するものと思われます。このような状況のもと、当社の営業・技術・製造が一体となって市場競争力を高めるとともに、さらなる業績の向上、企業価値の増大に向けて邁進すると同時に、顧客にとって不可欠なパートナーであり続けることを目指して取り組んでおります。また当社が対処すべき課題として以下のことに取り組んでまいります。

①既存製品の拡充・新製品の開発

当社は「サクシヨンの大研（吸引器…フィットフィックス、キューインポット）」、「ポンプの大研（注入器…シリンジェクター、バルーンジェクター）」のイメージを定着させるとともに、独創的な製品の研究開発活動をより一層強化し、最先端医療を支える当社のイメージを確立するよう取り組みます。

②海外販売の拡充

当社の売上はそのほとんどを国内販売に依存しており、海外売上高の割合は、2018年3月期3.3%、2019年3月期3.9%です。今後も製品ラインアップ及び販売網の拡充に努め、海外での競争力をより一層高めていけるよう取り組みます。

③優秀な人材の確保、教育の強化

当社の企業価値は個々の従業員から創出されるものです。当社の競争力を高めるため、積極的に採用活動を行い、優秀な人材の確保・教育の強化に取り組めます。

④品質保証体制の充実

当社は、医薬品医療機器法を踏まえて製品の保守、点検や修理など、お客様からのご要望に対して十分に応えられるように、品質保証体制の充実を図り、顧客満足度の向上に取り組めます。

⑤強固な企業体質の確立

当社は、コーポレートガバナンス、コンプライアンス、内部統制等の強化を図り、強固な企業体質の確立に向けて取り組みます。

これらを踏まえ、フーデターバイテクノロジー（独創の技術でドラスティックな医療革命を目指す）という意味を持つ造語である「フーデック（COOPDECH）」のブランディング強化に努め、さらなる業績と顧客満足度の向上を図り、企業価値の増大に向けて取り組んでまいり所存でございますので、株主の皆様におかれましては、何卒一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(5) 財産及び損益の状況の推移

区 分		第48期 2016年3月期	第49期 2017年3月期	第50期 2018年3月期	第51期(当期) 2019年3月期
売上高	(千円)	8,261,416	8,399,605	8,585,276	8,406,607
経常利益	(千円)	1,704,192	1,714,916	1,504,426	1,245,995
当期純利益	(千円)	1,153,281	1,246,001	1,012,144	851,600
1株当たり当期純利益	(円)	38.45	41.55	33.79	29.05
総資産	(千円)	10,136,843	11,007,560	11,137,150	10,970,969
純資産	(千円)	6,512,633	7,279,544	6,694,974	5,767,905



(6) 主要な事業内容

医療機器の研究開発、製造、販売及び輸出入

(7) 主要な営業所及び工場

	名称	所在地
本店	本社	大阪市中央区
研究拠点	商品開発研究所	大阪府和泉市
	検査機器PJ	横浜市港北区
生産拠点	和泉アSEMBリーセンター	大阪府和泉市
営業拠点	札幌支店	札幌市北区
	仙台支店	仙台市青葉区
	さいたま支店	さいたま市大宮区
	東京支店	東京都千代田区
	横浜支店	横浜市西区
	金沢営業所	石川県金沢市
	名古屋支店	名古屋市中区
	大阪支店	大阪市中央区
	広島支店	広島市南区
	福岡支店	福岡市博多区

(8) 従業員の状況

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
186名	2名減	40歳9ヶ月	10年5ヶ月

(注) 上記従業員数は就業人員であります。なお、使用人兼務取締役及び臨時従業員（パートタイマー、契約社員、嘱託社員、派遣社員）は含んでおりません。

(9) 主要な借入先

借入先	借入額
株式会社三菱UFJ銀行	1,881,234千円
株式会社みずほ銀行	744,740千円
株式会社三井住友銀行	267,948千円
三井住友信託銀行株式会社	300,000千円
株式会社りそな銀行	170,000千円

② 会社の株式に関する事項

(1) 発行可能株式総数

103,360,000株

(2) 発行済株式の総数

31,840,000株（自己株式 3,111,559株を含む。）

(3) 株主数

12,949名

(4) 大株主

株主名	持株数	持株比率
山 田 圭 一	株 5,627,760	% 19.59
山 田 満	5,433,880	18.91
山 田 雅 之	2,595,360	9.03
山 田 米 子	1,068,720	3.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	930,800	3.24
公益財団法人山田満育英会	700,000	2.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	463,200	1.61
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口5）	332,100	1.16
大研医器従業員持株会	300,900	1.05
一般財団法人山田満音楽芸術振興会	300,000	1.04

(注) 当社は、自己株式3,111,559株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

(5) その他株式に関する重要な事項

該当事項はありません。

③ 会社の新株予約権等に関する事項

(1) 当社役員が保有している職務執行の対価として交付された新株予約権等の状況

該当事項はありません。

(2) 当事業年度中に職務執行の対価として当社使用人等に交付した新株予約権等の状況

該当事項はありません。

(3) その他新株予約権等に関する重要な事項

該当事項はありません。

④ 会社役員に関する事項

(1) 取締役及び監査役の氏名等

地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役社長	山田圭一	技術本部担当
取締役副社長	山田雅之	管理本部担当
取締役	山田満	
取締役	柳堀真司	営業本部担当
取締役	大工舎宏	株式会社アットストリーム代表取締役、株式会社ヴァイナス社外監査役
常勤監査役	上原康司	
監査役	岩城本臣	弁護士法人中央総合法律事務所代表社員弁護士、フルサト工業株式会社社外監査役、奥村組土木興業株式会社社外監査役、株式会社SN食品研究所社外監査役
監査役	北山涼一	

- (注) 1. 取締役のうち大工舎宏氏は社外取締役であります。
2. 監査役のうち岩城本臣氏及び北山涼一氏は社外監査役であります。
3. 取締役大工舎宏氏は、公認会計士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。また、株式会社東京証券取引所が一般株主保護のため確保することを義務づけている独立役員であります。
4. 監査役岩城本臣氏は、弁護士の資格を有しており、企業法務に関する相当程度の知見を有するものであります。

(2) 取締役及び監査役の報酬等の額

区分	支給人員	報酬等の額
取締役	6名 (うち社外取締役2名)	178,380千円 (うち社外取締役3,960千円)
監査役	3名 (うち社外監査役2名)	17,799千円 (うち社外監査役4,800千円)
計	9名	196,179千円

(3) 社外役員に関する事項

①重要な兼職先である他の法人等と当社との関係

社外取締役大工舎宏氏の兼職先である株式会社アットストリーム、株式会社ヴァイナスと当社とは、特別の関係はありません。

社外監査役岩城本臣氏の兼職先である弁護士法人中央総合法律事務所、フルサト工業株式会社、奥村組土木興業株式会社、株式会社SN食品研究所社外監査役と当社とは、特別の関係はありません。

②当事業年度における主な活動状況

区分	氏名	主な活動状況
社外取締役	大工舎 宏	当事業年度開催の取締役会13回のうち13回に出席いたしました。主に公認会計士としての専門的見地からの発言を行っております。
社外監査役	岩城本臣	当事業年度開催の取締役会13回のうち10回、監査役会11回のうち11回に出席いたしました。主に弁護士としての専門的見地からの発言を行っております。
社外監査役	北山 涼一	当事業年度開催の取締役会13回のうち13回、監査役会11回のうち11回に出席いたしました。長年の豊富な監査役としての経験等からの発言を行っております。

⑤ 会計監査人の状況

(1) 会計監査人の名称

有限責任 あずさ監査法人

(2) 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額

区 分	報酬等の額
当社が会計監査人に支払うべき報酬等の合計額	19,240千円
当社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額	19,240千円

- (注) 1. 当社と会計監査人との監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。
2. 監査役会は、日本監査役協会が公表する「会計監査人との連携に関する実務指針」を踏まえ、会計監査人の監査計画、監査の実施状況及び報酬見積もりの算出根拠などを確認し、検討した結果、会計監査人の報酬等について同意を行っております。

(3) 非監査業務の内容

該当事項はありません。

(4) 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等その必要があると判断した場合は、株主総会に提出する会計監査人の選任及び解任並びに会計監査人を再任しないことに関する議案の内容を決定します。

また、監査役会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査役全員の同意に基づき監査役会が、会計監査人を解任します。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会におきまして、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告します。

計算書類

貸借対照表 (2019年3月31日現在)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	6,346,047	流動負債	3,705,570
現金及び預金	2,217,605	支払手形	526,359
受取手形	1,168,236	買掛金	310,450
売掛金	1,425,902	短期借入金	1,100,000
製品	992,486	1年内返済予定の長期借入金	803,998
仕掛品	101,724	未払金	213,640
原材料	405,653	リース債務	6,346
前払費用	19,536	未払費用	446,381
その他流動資産	14,987	未払法人税等	146,665
貸倒引当金	△86	未払消費税等	13,243
固定資産	4,624,922	預り金	13,642
有形固定資産	4,275,633	設備関係支払手形	59,092
建物	2,168,485	資産除去債務	43,064
構築物	2,467	その他流動負債	22,684
機械及び装置	95,454	固定負債	1,497,493
車両運搬具	293	長期借入金	1,459,924
工具、器具及び備品	178,299	リース債務	20,733
土地	1,703,670	長期預り保証金	14,046
リース資産	24,987	その他固定負債	2,789
建設仮勘定	101,974	負債合計	5,203,063
無形固定資産	32,205	純資産の部	
ソフトウェア	27,102	株主資本	5,767,905
電話加入権	5,103	資本金	495,875
投資その他の資産	317,083	資本剰余金	400,875
出資金	10	資本準備金	400,875
長期前払費用	4,751	利益剰余金	6,697,738
繰延税金資産	204,341	利益準備金	23,750
差入保証金	97,583	その他利益剰余金	6,673,988
会員権	17,500	別途積立金	690,000
生命保険積立金	8,797	繰越利益剰余金	5,983,988
長期未収入金	13,150	自己株式	△1,826,582
貸倒引当金	△29,050	純資産合計	5,767,905
資産合計	10,970,969	負債・純資産合計	10,970,969

損益計算書 (2018年4月1日から2019年3月31日まで)

(単位：千円)

科目	金額	
売上高		8,406,607
売上原価		4,468,694
売上総利益		3,937,913
販売費及び一般管理費		2,688,324
営業利益		1,249,588
営業外収益		
受取利息	21	
未払配当金除斥益	425	
為替差益	127	
受取補償金	2,818	
助成金収入	400	
その他	2,205	5,998
営業外費用		
支払利息	4,764	
支払手数料	4,822	
その他	4	9,591
経常利益		1,245,995
特別利益		
新株予約権戻入益	5,160	5,160
特別損失		
固定資産除却損	41,325	
本社移転関連費用	56,157	97,482
税引前当期純利益		1,153,672
法人税、住民税及び事業税	315,301	
法人税等調整額	△13,228	302,072
当期純利益		851,600

計算書類に係る会計監査報告

独立監査人の監査報告書

大研医器株式会社
取締役会 御中

2019年5月8日

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 黒川 智哉 ㊞
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 大橋 正紹 ㊞
業務執行社員

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、大研医器株式会社の2018年4月1日から2019年3月31日までの第51期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

監査役会の監査報告

監査報告書

当監査役会は、2018年4月1日から2019年3月31日までの第51期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

(1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

(2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めると共に、以下の方法で監査を実施しました。

①取締役会その他の重要会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。

②事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、また、金融商品取引法上の財務報告に係る内部統制については、会計監査人有限責任 あずさ監査法人から、当該内部統制の評価及び監査の状況について報告を受け、必要に応じて意見を表明いたしました。

③会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証すると共に、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。

② 取締役の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人有限責任 あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2019年5月13日

大研医器株式会社 監査役会
常勤監査役 上原 康司 ㊞
社外監査役 岩城 本臣 ㊞
社外監査役 北山 涼一 ㊞

以上

製品紹介 最先端医療を支える独創的な製品を次々と開発

Suction

手術中の血液や体液等の廃液を吸収し、ワンタッチで凝固させることができます。凝固剤一体型で完全密閉のため、安心して移動・焼却処分が可能です。ウィルス等の院内感染予防に貢献します。

フィットフィックス



手術中に排出された血液や体液を吸収し、貯溜するディスポーザブル吸引器。

クーデックキューインポット



軽量かつコンパクトな使い捨て吸引器。病棟で簡単かつ清潔に使用可能。

Pump

手術後の痛みやがんの痛みを軽減するため、麻酔等の薬液を常に一定の流量で注入します。大気圧やメカトロニクス技術を利用することで、理想的な流量精度を実現しました。またPCAを利用することにより、現場のニーズにあわせて鎮痛剤の追加投与が可能となりました。

クーデックシリンジエクター-PCAセット



現在のPCAでは薬液投与量の記録管理等が可能。

クーデックシリンジポンプ



注射筒に入った輸液を注入する電動ポンプ。高い精度で多様な流量調整が可能。

Others

救急医療や手術室等で使用する様々な製品を作り出しています。今後は、低侵襲治療に係る最先端技術の開発や在宅医療等の新領域にも挑戦し、患者様のクオリティ・オブ・ライフの向上に繋がる製品を送り出していきます。

クーデック気管支ブロッカーチューブ



片側の肺にだけ人工呼吸を行う「分離肺換気」をサポート。気管支への低負担が特徴。

クーデックステリキープⅡ



衛生的な手洗いに使用する、殺菌水製造装置です。

2019年
1月1日

社長交代・新組織体制について

山田圭一新社長のもと、全社一丸となって新商品開発・業績向上に邁進してまいります。

2019年1月1日付で、創業者である山田満が代表取締役社長から取締役となり、これまで取締役であった山田圭一が新たに代表取締役社長に就任いたしました。

新社長となる山田圭一は、創業者の長男で、ニューヨーク大学理学部大学院博士課程を卒業後、当社の研究開発の先頭に立って長年リーダーシップを発揮してきました。国内外の医療関係者に深い人脈を持つだけでなく、自身が数多くの特許を取得する等、社内一のアイデアマンでもあります。

また、次男である山田雅之は、営業本部長や商品企画部長など幅広い豊富な業務経験を持っており、同日1月1日付で副社長に就任いたしました。営業戦略や全社的な管理体制等について、全面的に山田圭一新社長を支援する役目となります。

なお新体制における全社スローガンとして、「One COOPDECH」を掲げることにいたしました。新社長・副社長のもと、世界に通用する新商品開発や医療現場に密接した営業戦略により、全社一丸となって業績拡大に向けて進めてまいりますので、今後の当社にどうぞご期待ください。



メ モ

A series of horizontal dashed lines for writing, consisting of 18 lines.

株主総会会場 ご案内図

会場 **スイスホテル南海大阪 8階 浪華の間**
大阪市中央区難波五丁目1番60号



交通のご案内

大阪メトロ・近鉄電車・ 阪神電車の場合

- 御堂筋線「なんば駅」4番出口
- 千日前線「なんば駅」4番出口
- 四つ橋線「なんば駅」31番出口
- 近鉄電車・阪神電車
「大阪難波駅」東改札口が
便利です。

南海電車の場合

- 北口改札を出て左（西）側の
ホテル専用入口が便利です。

※誠に恐縮ながら、お車でのご来場
はご遠慮くださいますようお願い
申し上げます。



医療社会を未来する

大研医器株式会社

